

# 第75号 議会だより

令和3年2月15日発行

## 雇用の創出に期待

～JT跡地に大型マルチテナント型物流施設が完成～



### もくじ

[議案審査] 令和2年度補正予算	2
[審議結果] 12月定例会	3
[委員会活動] 継続審査の解説・報告	4～5
12月定例一般質問	6～10
[議場見学] 須賀川地方聴力障害者会、 須賀川手話サークルあゆみ会の皆さん	11
[お知らせ] 3月定例会予定表	12
傍聴案内	12
編集後記	12

### 【表紙の写真】

須賀川市では、平成29年度から「茶畑地区産業拠点整備事業」として、日本たばこ産業株式会社（JT）東日本原料本部工場跡地の一部について、企業誘致を進めてきました。

議会では、市当局に対し進捗状況の報告を求めるなど、その取り組みを注視し、最終的に平成31年3月定例会において、大和ハウス工業株式会社福島支社との土地売買契約締結に係る議案を可決しました。



12月

補正  
予算

# 令和4年度に 電子決裁を導入予定 内部情報系システム整備に 1億9,886万3千円など

12月15日及び17日に予算常任委員会が開かれ、合計6件の補正予算議案の審査を行いました。

議会では慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

ここでは、令和2年度一般会計補正予算の審議における質疑と答弁の一部をご紹介します。

## 新型コロナウイルス緊急対策事業のうち 内部情報系システム整備 業務委託料

行政管理課

**問** 内容の詳細と、稼働時期が令和4年4月となる理由を伺う。

**答** 電子決裁導入のための内部情報系システムに係る内容であり、大きく①文書管理②庶務事務③財務会計④人事給与の4つに分かれている。

それぞれ内部事務を行うに当たり、これまで手作業で行っていたものや、既に部電子的に行っているものをまとめて、電子的に処理できるようなシステムに構築しなおすもの。

稼働時期については、令和3年度いっぱいにかけてシステム構築と試験運用などを行いながら、令和4年4月から稼働できるように準備を整える流れである。

**問** 令和3年度当初予算ではなく、今回の補正になった理由は。また、RPA(※)との関連性はあるのか。

**答** 今回の対応を行う大きなきっかけは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式への対応である。出勤等の制約が想定される中で、非接触的な仕事の仕方を模索し、テレワークやサテライトオフィスでの対応をするには、電子決裁の必要性があるため、補助金などを活用するに当たり今回の補正予算対応とした。

RPAとの直接的な関連はないが、効率化ということでは共通するものがあるため、今後、それら連動できるものは連動を図ってきたい。

※RPA: Robotic Process Automationの略称で、コンピュータ上で行われる業務プロセスや作業を、人に代わり自動化する技術のこと。事務作業や反復作業をロボットで代替させることにより、生産性の向上が期待できる。

## 12月定例会における主な 一般会計補正予算内容

### 新型コロナウイルス緊急対策事業

電子決裁導入のための内部情報系システム整備に要する経費  
**1億9,886万3千円**

ひとり親世帯に給付する  
給付金等に要する経費  
**5,061万1千円**

### 認定こども園施設型給付事業

国の公定価格改定等に伴う  
施設型給付費  
**1億4,362万9千円**

### 障がい者福祉サービス給付事業

給付件数の増等に要する経費  
**1億3,410万6千円**

### 須賀川地域体育施設改修事業

照明設備等改修に要する経費  
**9,650万円**

## 文化センター駐車場整備事業

文化振興課

**問** アリーナ側駐車場の樹木の伐採及びアスファルトの舗装工事とあるが、どのような内容なのか伺う。

**答** 文化センターとアリーナの間にある2施設共用の駐車場の拡張であり、市道2230号線側にある植栽部分を伐採し、そこを駐車場として拡張していきたい考えである。

**問** 文化センターの正門入り口周辺のレイアウトはどのようなものになるのか伺う。

**答** これから様々な動線や駐車場の幅の問題などを勘案して、詳細な設計を進めてまいります。



# 12月定例会の審議結果をお知らせします!

結果の表示記号

- ◎ 全会一致で可決、同意、承認、採択
- － 継続審査

議案等番号	件名 ※下段は議案等の概要	結果
議案	96 <b>地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例</b> 令和3年1月1日から地方税法等の一部を改正する法律により延滞金を算出する際に用いる名称等が変更されたことに伴い、所要の改正を行うもの	◎
	97 <b>福島県市民交通災害共済組合規約の変更について</b> 規約の変更について、地方自治法の規定により議決を求めるもの	◎
	98 <b>須賀川市税特別措置条例の一部を改正する条例</b> 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、引用する省令名及び条ずれについて、所要の改正を行うもの	◎
	99 <b>市道路線の認定及び廃止について</b> 市内桜岡地内外1地区の道路整備等及び須賀川市文化センター駐車場整備に伴い、市道路線の認定及び廃止を行うもの	◎
	100 <b>須賀川市老人憩の家条例を廃止する条例</b> 翠ヶ丘公園温浴施設等整備事業公募設置等にかかる基本協定により、新たな施設が整備されることに伴い、令和3年3月31日をもって廃止するもの	◎
	101 <b>須賀川市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例</b> 須賀川市立稲田小学校及び須賀川市立稲田中学校を廃止し、義務教育学校とするため、所要の改正を行うもの	◎
	102 <b>訴訟上の和解について</b> 平成29年1月に自死した当時中学1年の生徒の両親から、須賀川市等に対して損害賠償の支払いを求めた提訴がなされ、訴訟継続中のところ、福島地方裁判所郡山支部からの和解勧告のとおり和解することについて議決を求めるもの	◎
	103 <b>令和2年度須賀川市一般会計補正予算(第9号)</b>	◎
	104 <b>令和2年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)</b>	◎
	105 <b>令和2年度須賀川市介護保険特別会計補正予算(第2号)</b>	◎
	106 <b>令和2年度須賀川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)</b>	◎
107 <b>令和2年度須賀川市下水道事業会計補正予算(第3号)</b>	◎	
108 <b>議会の議員に対する期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例</b> 人事院勧告に基づく特別職の国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員に対する期末手当について改正するもの(6月・12月ともに支給率を167.5/100⇒165/100に改正)	◎	
109 <b>市長等の給与及び旅費並びに教育長の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例</b> 人事院勧告に基づく特別職の国家公務員の給与改定に準じ、市長等特別職に対する期末手当について改正するもの(6月・12月ともに支給率を167.5/100⇒165/100に改正)	◎	
110 <b>職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</b> 福島県人事委員会の給与等に関する勧告に基づき、期末手当支給率を改正するもの(年間支給月数0.05月引下げ)	◎	
111 <b>令和2年度須賀川市一般会計補正予算(第10号)</b>	◎	
報告	18 <b>専決処分の報告について</b> 市道において、路面損傷及びグレーチングの跳ね上がりにより起きた2件の車両損傷事故について、それぞれ損害賠償額が決定し、和解したもの	◎
請願	8 <b>日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する請願書</b>	－



## 各常任委員会の活動を報告します。

常任委員会では、議案などの審査のほかに、所管する事務を取り上げ、積極的に調査を行っています。

今年度を振り返り、どのような活動を行ってきたのか、各常任委員会のレポートをご覧ください。

※須賀川市議会には左記の常任委員会があります。今回は紙面の都合上、総務・経済建設・文教福祉の3常任委員会をご紹介します。

常任委員会の名称	常任委員会の所管
総務常任委員会	議会、企画政策部、総務部、財務部、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の分掌事務並びに他の常任委員会に属さない事務
経済建設常任委員会	経済環境部、建設部（教育財産の建築に関する事務は除く。）、上下水道部及び農業委員会の分掌事務
文教福祉常任委員会	文化交流部、市民交流センター、市民福祉部及び教育委員会の分掌事務並びに教育財産の建築に関する事務
議会広報常任委員会	議会の広報に関する事務
予算常任委員会	当初予算及び補正予算に関する事務

### 総務常任委員会

#### 【調査項目】

シニアプロモーションの在り方及び公共交通対策の充実について

#### ■ 参考人制度を活用

8月19日の委員会では、福島大学の村上早紀子准教授に参考人として出席いただき、「地域の足を育てる地域公共交通のゆくえ」をテーマに説明を受けました。

この中では特に、市街地周辺地域に住む交通弱者の方々の、日常の交通手段を確保するための取り組みについて、様々な実例を紹介いただきました。

#### ■ 市内の現地調査を実施

10月14日の委員会では、市内全域の公共交通の実態を調査するため、バス路線を中心に市内全域の現地調査を実施しました。

調査の結果、本市は東西に長く各地域の特性も異なるため、実態に基づいた対策が必要であることを改めて認識しました。

#### ■ 提言に向けて

12月4日の委員会では、公共交通対策に関する委員会としての提言に向

けて、各委員から多様な意見が出されました。これらを提言としてまとめ、更に議論を重ねてまいります。また、シニアプロモーションの在り方については、今後、市当局において事業の進展があった際は、積極的に進捗状況を報告いただき、意見交換を実施したいと考えています。

#### 総務常任委員会

委員長	本田 勝善
副委員長	佐藤 栄久男
委員	斉藤 秀幸
//	小野 裕史
//	大柿 貞夫
//	溝井 光夫
//	佐藤 瞭二
//	市村 喜雄



委員の意見集約のためワークショップを実施(1月12日)

## 経済建設常任委員会

【調査項目】  
 牡丹台アメリテイツーンの整備  
 及び災害復旧の状況について

■牡丹台アメリテイツーン整備の経過  
 当初、「令和元年度はサウンドディング型市場調査を実施、令和2年度は基本構想を公表する」という計画でしたが、しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、基本構想の公表時期は令和3年度に変更することについて、市当局から報告を受けています。

今後の詳細な見通しは立たないものの、委員会としては当該整備に対し効果的な提言を行うため、継続して調査を行っています。

### ■県内の先進事例を調査

10月16日に、国見町の道の駅「国見あつかしの郷」、浪江町の「道の駅なみえ」を視察してきました。

本市では、複合施設内の一部に道の駅を整備する予定ですが、施設の核となることが想定されます。このため、視察においては管理手法や利用者の状況など、参考となる項目を調査してきました。

### ■災害復旧状況の調査も続けます

令和元年の台風第19号災害では、多くの農家の方々が被災されました。これまで、現地確認2回を含む調査を行ってきましたが、復旧には複数年を要する場面もあるため、引き続き調査を行ってまいります。

#### 経済建設常任委員会

委員長	大河内和彦
副委員長	横田 洋子
委員	高橋 邦彦
〃	鈴木 洋二
〃	安藤 二聡
〃	広瀬 吉彦
〃	鈴木 正勝
〃	大内 康司



11月11日の現地調査(前田川地内)

## 文教福祉常任委員会

【調査項目】  
 教育現場におけるICTの利活用  
 及び高齢者等を支える地域づくりについて

### ■本市の実態を調査

6月22日の委員会では、小・中学校におけるICT環境の整備状況について、市当局に説明を求めました。

その中で、学習への具体的な取り入れ方、教員へのICT活用支援状況などについて詳細な説明がありました。

各委員からは、パソコンの維持費や使用ソフトに関すること、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための小・中学校臨時休業期間における各学校での活用状況などについて質疑があり、本市の実態について理解を深めました。

### ■稲田学園の視察を実施

学校におけるICT環境の整備状況や学習の取り入れ方などの現状把握のため、10月5日の委員会では稲田学園の視察を行い、ICT教育に必要な施設整備が着実に進んでいることを認識しました。

今後は、教員の指導力向上やICT

支援員の適切な配置など、授業におけるICT活用のための環境整備について、更に議論を重ねてまいります。

### ■提言に向けて

今後は、これらの調査結果をまとめ、市当局への提言をまとめていく考えです。また、高齢者等を支える地域づくりについては、地域共生社会の観点から調査を進めてまいります。

#### 文教福祉常任委員会

委員長	大寺 正晃
副委員長	石堂 正章
委員	堂脇 明奈
〃	浜尾 一美
〃	熊谷 勝幸
〃	深谷 政憲
〃	五十嵐 伸
〃	加藤 和記



10月5日に稲田学園を視察



# 13人の議員が 市政に対する一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、市政全般について市長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますが、QRコードにスマートフォンをかざすと、全体の録画映像を見ることができます。

※写真撮影時のみマスクを外しています。



石堂 正章



## 原子力災害対策について

**問** 保育所・こども園・幼稚園・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実現状況と今後の方針を伺う。

**答** 給食用食材の放射性物質の検査は、保育所・こども園では毎食ごと園児2食分の量を取り出して検査している。幼稚園・小中学校では全ての調理場で毎食ごとの「丸ごと二食検査」を実施の上、それぞれ安全性を確認し提供している。今後の放射性物質測定の継続は、県及び他市町村の動向を踏まえ検討する。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 本庁舎・市民サービスセンター・体育施設・公民館の利用者と職員に対する感染症対策を伺う。

**答** 利用者への感染症対策は、マスク着用、出入口でのアルコール手指消毒、待ち合い時に距離を取るなど新しい生活様式の周知、エレベーターのボタンや階段の手すりなどの共用部分の定期的消毒、窓口にビニールカーテンやフィルムパーテーションなどを設置し飛沫感染防止対策を行っている。体育館・公民館での利用団体に感染防止対策チェックリストや利用者名簿の提出をお願いし、公民館事業やスポーツ大会では、自動的に検温する顔認証型サーマルカメラを設置している。職員への感染症対策は、日々の検温や行動記録に加え、ウェブ会議の開催など人の移動に伴う感染機会を減らしている。執務室内の机、書棚、電話機やコピー機などを定期的に清拭消毒して集団感染防止に努めている。冬場を迎えるに当たり、寒い環境でも十分な換気と適度の加湿などを行っている。



溝井 光夫



## 待機児童対策について

**問** 保育所・こども園、児童クラブにおいて、待機児童が発生する要因をどのようにとらえているのか伺う。

**答** 申込者の増加に、施設整備や保育士などの確保が追い付かず、需要に見合った定員を確保できないことが要因である。

**問** 令和3年度の各施設の申し込み状況により、現時点での待機児童が推計されるが、今後どのような対応を取っていく考えか伺う。

**答** 保育所・こども園の令和3年度の新規入所申し込み状況は、今年度と比べ約50人の増加であり、特に0歳児から2歳児の申し込みが増加している。保育の必要性に基づいた入所利用調整と、保育人

材の確保に努める。

児童クラブは利用定員を約160人上回っているため、利用定員の拡大や放課後の居場所づくりに対応する考えである。

**問** 児童クラブにおいて昨年度のように複数の施設で多くの待機児童が発生しないよう、早めの対策を講じるべきと考えるが、どのように検討する考えか伺う。

**答** 小学校内の余裕教室活用による利用定員の増員や公共施設等を活用した放課後預かりなどにより対応する考えである。



大東こども園

## その他の質問項目

①文化財の保存活用について



鈴木 洋二



**災害時における避難所の収容人数について**

**問** 水害で指定している避難所の数とコロナ禍を想定した収容人数について伺う。

**答** 水害時の指定避難所は21施設、コロナ禍を想定した1人当たり3.3㎡を確保した収容人数は約2000人である。

**問** 避難者が集中し、収容人数を超えることもあると思われる、その際の対応や周知について伺う。

**答** 収容能力を超えそうな場合には避難者の移動手段等を考慮の上、早期に他の避難所へ案内する考えである。周知については、分散避難の啓発を行うほか、避難所での案内、市広報車やホームページ、防災無線、ウルトラFM等において広く周知する考えである。

**問** 地震災害があったときの避難所の開設の考え方は

と収容人数について伺う。

**答** 地震等の大規模災害時の避難所は、水害時に使用できない須賀川アリーナ等を含む100施設、被害の状況に応じてこれらを開設する考えである。

コロナ禍を想定した収容人数は約1万2000人である。

**水害時における車両の避難の考え方について**

**問** 浸水被害を最小限にするために車両の避難場所を確保する考えがあるか伺う。

**答** 水害時に使用する指定避難所以外の公共施設の駐車場等の活用について検討している。

**問** 民間事業者と車両避難場所等提供協力を考えるか伺う。

**答** 公共施設の状況や民間施設の立地及び条件等を踏まえ、今後検討していく考えである。

**その他の質問項目**

①水害時における農機具の事前対応について



堂脇 明奈



**重度心身障がい者医療費助成制度について**

**問** 現物給付方式にする

と受診する患者数が増えるとし、増えた医療費については国庫負担金を減額する仕組みが取られている。現物給付にした場合、市の財政負担額と国庫負担金の減額を伺う。

**答** 重度心身障がい者医療費助成事業及び後期高齢者医療費給付費の扶助額の増額分が約2650万円、国民健康保険の国庫負担金減額分が約3300万円となる。

**問** 現物給付への移行を

する考えがあるか伺う。  
**答** 県内でも現物給付や自動償還払い方式を実施している市町村もある。国庫負担金減額措置の

廃止や減額分に対する助成事業の実施について、関係団体と連携しながら国や県に対して要望していくとともに、広域圏での取組を中心に検討を進める考えである。

**「乳がん」「子宮がん」検診について**

**問** 乳がんの発症が若い世代でも増えている傾向にある。検診対象年齢の引き下げの検討が必要と考える。対象年齢を30歳以上としたときの概算額と、必要性について伺う。

**答** 受診者数は約380人の増加が見込まれ、事業費は約158万円の増加が想定される。引き下げについては、国の基準の動向等を踏まえ検討していく考えである。

**その他の質問項目**

①保育所・保育園の民設民営化について  
②子どもの貧困について



高橋 邦彦



**小中一貫教育について**

**問** 本市において進められている小中一貫教育の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

**答** 「児童生徒の自尊意を高め、一人一人の個性を伸ばし、生きぬく力を育成すること」を目的として、9年間一貫した教育活動を市内全ての小中学校において取り組んでいる。

**問** 第二中学校区は、中学校1校と小学校3校とで施設分離型の小中一貫教育に取り組んでいるが、令和元年度の特徴的

な取組について伺う。

**答** 4校の全教員が学力向上部会、生徒指導部会、健康教育部会の3部会に所属して研修会を実施し、児童生徒の実態を共有の上、効果的な指導を一貫して進めるための計画の作成と実践に取り組んでいる。

**問** 施設一体型小中一貫校の稲田学園について、これまでの取組の成果と今後の見通しについて伺う。

**答** 職員室が1つのため、児童生徒の学習指導、生活指導の両面で情報交換が容易となっている。また、小学生と中学生が共に活動する機会が増え、児童生徒一人一人の思いやりや自尊意識の向上が図られている。令和3年度に向けて、9年間を一体的に見通した教育課程を編成し「義務教育学校稲田学園」として開校する準備を進めている。



大内 康司



**文化センターの改修  
工事の現況と再開予定  
時期について**

**問** 文化センターを利用する市民から再開が待ち望まれているが、再開の見通しについて伺う。

**答** 文化センター耐震補強改修工事は、現在順調に推移しており、令和3年秋頃には再開できると考えており、具体的には工事状況などを勘案しながら検討する考えである。

**新型コロナウイルスの  
感染対策について**

**問** 緑町地内に開設された須賀川市地域外来の検査実績について伺う。

**答** 11月末現在で69名の検査を実施している。

**問** 新型コロナウイルスの第三波発生に対する対策を伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があり、年末年始には帰省等による人の移動や、初詣など多くの人が集まる場面が増えて感染リスクが高くなると考えられる。市では、新しい生活様式実践のための5本の動画を公式ユーチューブで配信し、チラシや啓発用グッズの配布等、感染拡大防止対策に努め、新しい生活様式を全ての人に共有していただくことを強く意識していただくよう広く周知していく考えである。

**インフルエンザ予防接種の  
児童に対する2回接種の  
助成について**

**問** 2回接種の必要性和その助成についての対応を伺う。

**答** 生後6か月から12歳までの子供は、2回の接種では十分な免疫ができにくい。助成については県内の実施状況を勘案して検討していく考えである。



大柿 貞夫



**障がい者雇用の促進  
について**

**問** 身体障害者手帳等の所持者数と就労系障害福祉サービス受給者数の状況について伺う。

**答** 身体障害者手帳の所持者数は4349人で、就労系障害福祉サービスの受給者数は、就労継続支援A型が11人、B型が172人、就労移行支援が27人の計210人である。

**問** 民間事業者における障がい者の雇用促進に対する市の取り組みについて伺う。

**答** ハローワーク須賀川を中心に就職面接会などを開催しており、引き続き関係機関と連携を図りながら障がい者の雇用促進に努めていく。



**観光事業の取り組み  
について**

**問** 観光資源は財産であり、まちの顔でもある。観光資源の情報発信は重要と考えるが、どのように行っているのか伺う。

**答** 市広報をはじめ、観光情報誌「まっふる」須賀川版の発行、各種パンフレットの作成、市ホームページや市公式のユーチューブ、フェイスブックなど各種活用している。

**問** 須賀川特撮アーカイブセンターが開館したが、直近の施設利用者数及び今後の情報発信について伺う。

**答** 来館者は約一か月間で7861名である。遠くは九州地方をはじめ全国各地から来館いただいております。松明通りのモニユメントや円谷英二ミュージアムとの相乗効果も表れている。今後は、新たに導入を図るLINEをはじめSNSの活用や施設独自のホームページを作成し特撮アーカイブセンターの意義や役割を踏まえた情報発信に努めていく。



鈴木 正勝



**コロナ禍を克服する  
令和3年度予算編成と  
財政運営について**

**問** SDGsへの取組に係る予算編成の考えと、市民との協働、公民連携の推進に向けた予算編成の考えを伺う。

**答** 新年度においては、商工会議所、商工会などの各団体との連携を進め、市民企業向け研修会を開催するなど、広くSDGsの理念の浸透を図られるよう対応する考え。また、市民との協働に加えて民間事業者からの提案募集のあり方を検討するなど対応する考え。

**問** コロナ禍の影響により今後の今後の財政計画の見直しを伺う。

**答** 大規模プロジェクトについては、実施期間の延長や規模の縮小などにより持続可能な財政運営を維持する計画とする考え。

**デジタル社会がひろく  
新しい暮らしの推進に  
ついて**

**問** マイナポータル(びつたりサービス)の二層の活用、拡大に向けた取組と、マイナンバーカード取得促進へ課題に対する取組への考えを伺う。

**答** 引き続きマイナンバーカードの普及に努めながら、市民の利便性向上に向け推進していく考え。また、スマートフォンやパソコン、証明写真機によるオンライン申請が困難な高齢者などに対しては、職員が郵送申請に必要な写真撮影を行い、申請書作成のサポートを実施しており、今後も普及促進に努めていく考え。

**問** 学校が臨時休業となった場合、WiFi環境のない家庭に対する市の対応を伺う。

**答** 一人一台の端末が整備された後は、学校に登校させて3密を避けるなどの感染症対策を行いながら、学校のWiFi環境を利用させる考え。





大寺 正晃



商店街の活性化支援について

問 国は、道路占用許可基準の緩和をしているが、この制度の内容を伺う。

答 本制度は、国土交通省が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するための緊急措置として、地方公共団体又は地域住民、団体等が取り組む沿道飲食店等の路上利用について道路占用が認められるとともに、占用料が免除されるもので、緩和措置適用期限は、当初の11月30日から令和3年3月31日まで延長された。

問 平成29年6月の一般質問において、飲食店や公民館で夜活動する団体への後押しとして市役所駐車場の夜間無料開放について伺った。現在、新庁舎駐車場の整備も終わり、広々とした駐車場が完成したが、以前と変わらず夜の利用者はほとんどいない。市役所駐車場を夜間無料開放する考えはあるか伺う。

答 一定要件を満たす場合に市役所駐車場の無料開放を行っているところであるが、新たに夜間無料開放する考えはない。

問 コロナ禍において危機的状況にある飲食店への緊急的な支援策として、また、夜間無料開放における社会への影響を検証するために、社会的実験のような取組として期限を設け、例えば12月から1月までの期間だけでも夜間無料開放を行うというのはいかがか。

答 関係団体の意見や新型コロナウイルス感染症の状況などを総合的に勘案しながら検討していく。



熊谷 勝幸



聴覚障がい者に対する支援について

問 須賀川市手話言語条例を制定した背景と目的はどのようなものだったのか伺う。

答 手話が言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解を深め、手話の普及により手話が必要とする人があらゆる場面で情報を得ることができ、互いに支えあいながら暮らすことができる須賀川市を目指すものである。

問 手話通訳者等による支援体制について伺う。

答 手話通訳者等による支援体制は、平成12年から常勤による手話通訳者を配置し、窓口や派遣による手話通訳に対応している。登録手話通訳者等の人数は19人である。

問 手話の普及啓発と市民が手話を学ぶために行っている取組、さらには今後の取組について伺う。

答 手話出前講座、手話奉仕員養成講座を開催している。今後の取り組みとしては、手話出前講座の拡充や、市の各種イベントにおける手話通訳など、さらなる事業展開を図っていく考えである。

公民館の活用状況について

問 子供たちに公民館を利用してもらうため、どのような取組や工夫を行っているのか伺う。

答 小学生対象の親子体験教室や、中学生対象のジュニアボランティア養成講座などを行っており、多くの子供たちに利用してもらえよう学校を通じて募集するとともに、公民館だよりで周知しているほか、講座ごとのアンケートにより事業の改善に努めている。



深谷 政憲



保育施設の民設民営化について

問 第三保育所、つつみね保育園及びびたん保育園の3施設において、施設の老朽化が進み、今後、長期にわたる運営が困難になっていることから、民設民営化で200人規模の新たな施設とすることにリスクもあるのではと懸念している。

答 現在の、第2期子ども子育て支援事業計画に掲げた、子育て環境整備を進めている。

保育ニーズ量はしばらくの間、高い水準で推移すると見込んでおり、本市では令和2年8月に公民連携取組方針を策定し、民間活力の積極的な活用を推進する方針を示した。保育施設についても効果的かつ効果的なサービスが見込まれるときには、民設民営化を検討していくこととした。

問 民設民営化に移行するメリット、保護者アンケートの内容と結果について伺う。

答 公立の場合、国県支出金の対象外となっているが、民間の場合、施設整備に補助率2/3の国庫補助金、施設運営には補助率1/2の国庫負担金及び補助率1/4の県負担金の対象となる。また、民間活力の積極的な活用により地域活性化に資するとともに、独自のノウハウや専門知識を生かした運営により、更なる保育サービスの向上が図られると考えている。

保護者アンケートでは、民設民営化に肯定的な意見が85%を占め、新しい施設には、安全安心の環境や教育内容の充実が期待が寄せられている。



横田 洋子



## コロナ対策の取り組みについて

**問** 文科省の発表では、6月から11月の期間に児童・生徒のコロナウイルス感染症は3303人で、同じ学校で5人以上の感染者が確認された事例は61件となっている。学校生活で手を触れる回数が多い手洗い場の蛇口について、感染リスクを減らすために、自動水栓化が望ましい。今後の取り組み方について伺う。

**答** 施設の清拭消毒やアルコールの配置など感染防止対策の徹底を図っている。学校及び保育施設等の手洗い場の自動水栓化は、現時点では特に緊急性を持って取り組むべきものとは考えておらず、

今後の施設改修等に合わせ自動水栓化を図っていく。公民館や体育施設の手洗い場の自動水栓化についても各施設の大規模改修等の実施に合わせて進めていく考えである。

**問** 屋外である公園は、消毒液などの対策はとっていないとのことだが、不特定多数が利用する公園のトイレや水飲み場について、自動水栓の設置などのコロナ感染症防止対策は、どのように取り組むのか伺う。

**答** 大型遊具を設置している山寺池公園や翠ヶ丘公園など、利用者の多い公園のトイレ等から消毒液の設置などの対策を講じていく。公園のトイレや水飲み場等の自動水栓化は、施設の新設や改修に合わせ必要に応じて取り組んでいく考えである。

### その他の質問項目

- ①生活保護制度について
- ②プール施設の在り方について



斉藤 秀幸



## 翠ヶ丘公園について

**問** P-PFI事業の内容、制度を伺う。

**答** P-PFI事業とは、新たに創設された公募設置管理制度を利用し、都市公園における民間活力を用いた新たな整備手法である。温浴施設、カフェやレストランを事業者が整備し、多目的トイレ、園路、広場は市と連携して整備を行い、事業者が事業区域内の維持管理等を行う。今年度は、翠ヶ丘公園温浴施設等整備事業公募設置指針により公募、事業予定者を選定された株式会社あおいと基本協定を締結したところであり、令和4年度の供用開始を目指している。

**問** 観光面における翠ヶ丘公園の関わりについて伺う。

**答** 翠ヶ丘公園温浴施設等整備事業の推進により、翠ヶ丘公園の魅力向上が図られ、中心市街地の回遊性を高める効果が期待でき、交流人口や関係人口の増加が見込まれると考える。

## 墓地公園について

**問** 現在までの整備総数と年間の平均使用許可件数、これからの区画造成数について伺う。

**答** 11月末現在、4134区画が整備済みであり、年間で約120件の使用許可を行っている。

今後は約1800区画を造成していく考えである。

**問** 自然葬について、可能性も踏まえ考えを伺う。

**答** 墓地に関する意識変化を考慮し、合葬墓や樹木葬などの永代供養の対応として、墓地公園基本計画において、自然葬区画エリアの整備を想定しており、今後の需要を見極めながら整備内容を検討していく考えである。



# マチイロ

「マチイロ」で  
議会だよりを  
もっと身近に!

## 「マチイロとは」?

登録している約870の自治体の広報紙や議会だよりを読むことができる無料アプリで、スマートフォンなどで気軽に読むことができます。

須賀川市議会だよりも、平成30年11月から登録しました。ぜひご活用ください。

ダウンロードは  
こちらから!



# 議場見学がありました。

令和2年10月14日に、「須賀川地方聴力障害者会」と「手話サークルあゆみ会」の皆さんが、共同で議場を見学しました。

両会は、聞こえる人と聞こえない人が共に手を取り合い、知識を高め、手話言語を広める活動をしています。

見学では、クイズに答えたり、議場の設備に触れてみたりするなど、熱心に取り組んでいました。



普段あまり聞くことのない議会用語について、たくさんの質問がありました。



参加者25名で、最後に記念撮影。

## “感想”を いただきました！

車田 美知子さん

議場が明るい。それと、対面型なので議員の顔が傍聴席から見えるのが良いです。私は難聴者で集音器を借りて使い、はっきり聴くことができました。ぜひ一度見学してみてください。



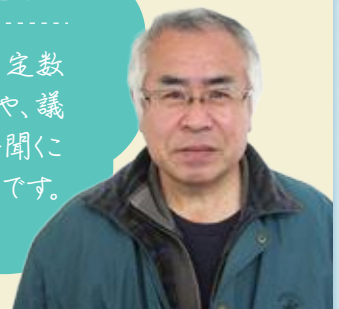
伊藤 真理子さん

素晴らしい議場ですね。入ってみて良かったです。



大河内 惣治さん

事務局から、議員定数が24名であることや、議会に関する説明を聞くことができ良かったです。



## ? 傍聴席の設備って、どんなものがあるの？

議場の傍聴席には、車椅子を使用する方のスペースや、みんなの傍聴席（防音室）があります。

また、難聴の方が使用するための磁気コイル付補聴器もありますので、使用を希望される方は、議会事務局職員にお声がけください。

目的の音を正確に聴き取ることができます



磁気コイル付補聴器



3月

# 定例会のお知らせ



3月定例会は、2月18日(木)から3月17日(水)までの28日間開催される予定です。

日	月	火	水	木	金	土
2/14	15	16	17	18	19	20
				招集日 【本会議】 (議案一括上程 提案理由説明)	議員議案調査	休会
21	22	23	24	25	26	27
休会	議会運営委員会 議員議案調査	休会	議員議案調査	議員議案調査	総括質疑ほか 【本議会】 (総括質疑、議案等 の委員会付託) 議員議案調査	休会
28	3/1	2	3	4	5	6
休会	常任委員会議案調査	常任委員会議案調査	一般質問 【本議会】 常任委員会議案調査	一般質問 【本議会】 常任委員会議案調査	一般質問 【本議会】 常任委員会議案調査	休会
7	8	9	10	11	12	13
休会	【委員会】 総務常任委員会 経済建設常任委員会	【委員会】 文教福祉常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	休会
14	15	16	17	18	19	20
休会	事務整理	最終日 【本議会】 (委員長報告、 議案等の質疑・ 討論・採決)				

## 議会の傍聴も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策実施中!



須賀川市議会では、定例会及び臨時会ごとに感染防止対策を検討し、マスクの着用や手指消毒をはじめ、各種対策を実施しています。

なお、最新の内容は議会ホームページでお知らせいたしますので、傍聴をご希望の方は、ご確認ください。

<http://gikai.city.sukagawa.fukushima.jp/>



次の「議会だより」は  
令和3年5月15日の発行予定です。

東日本大震災から十年を目前に、令和元年は台風災害に見舞われ、さらに令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活が一変しました。

そのような中、議会だよりでは、新型コロナウイルス緊急対策に関する審議の状況を積極的にお伝えするなど、市民の皆様の視点を重視して取り組んでまいりました。

本年も、市民の皆様身近に感じていただけるよう、開かれた議会だよりを目指してまいりますので、ご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。(委員 熊谷勝幸)

### 編集後記

委員長 溝井 光二  
副委員長 鈴木 洋夫  
委員 齋藤 秀明  
齋藤 秀一  
高橋 幸彦  
高尾 裕史  
浜野 裕史  
小野 裕史

議会広報常任委員会